

# いまこそ集落創生

第16回 下向地区



1\_今年の下向まつりには25名もの大学生が参加し大賑わい 2\_神室ダム竣工を記念して作られた杵。地区で譲り受け、今でも大切に使用している 3\_その杵でおばあちゃん方も乾杯 4\_下向公園を背に「いざ！みこし巡回だ！」

霊峰神室山のふもとにたたずむ下向地区。下向・栃木・地境の3集落で構成されており、現在は約30世帯1000名超が暮らしています。

近年、地区の団員も所属する消防団第7分団が操法大会などで躍進し、規律の高さが注目されています。災害などに対する危機管理の徹底を地域全体で呼びかけている下向にとって、消防団はとても頼もしい存在です。

6月9日、第35回下向まつりで「かむろの里・下向」(㊦)歌詞を紹介)が発表されました。これは、金山町初の地区の歌。矢口知之<sup>の</sup>助区長たつての希望で、秋田屋純さんが作詞、柴田榮さんが作曲を手掛けました。こうした新たな試みは地区に活気をもたらし、住民の親睦・融和が地区のポリシー。いつしか希薄になった縦横の繋がりが当たり前存在し、皆さんから笑顔があふれています。下向地区は「里山の暮らしを楽しむ心」が根付き、子どもたちへも継承されています。

「かむろの里・下向」

春の神室に 残り雪  
解けて流れし 有屋川  
やすらぐ里に 春の風  
いつか麓の 面影が  
一度おいでよ この村に  
あ、、、笑顔輝く 下向

夏の始まり 村まつり  
青葉が映えて まぶしくて  
歌や踊りと 花開き  
野山に届く 笑い声  
一度おいでよ この村に  
あ、、、夢見る里よ 下向

秋の神室も 色映えて  
人の目を引く 美しさ  
野山の里に 秋の風  
何故か心が いやされて  
一度おいでよ この村に  
あ、、、ときめく里よ 下向

## 金山町の人口は、5,463人 (5月末現在)

	男性	2,658人 (-2)
	女性	2,805人 (±0)
	世帯数	1,763世帯

▼5月の異動

出生	4人
死亡	7人
転入	9人
転出	8人

### 編集 幸記

金山町でも、近年小中学生のスマホ所有率が急増していることに驚きました。上手に使えば便利なものに違いありませんが、一歩使い方を間違えば学力の低下などを引き起こすやっかいなもの。取材を通して、家族でルールを決めることはもちろんですが、やはり自分の意志が一番大切なのだと感じました。

▼やっぱり「子供は風の王」。

外遊びが1番です。1歳半になる我が息子にはスマホではなく、ストライダーを預けたと思っています。(1中)